

■ 3班（代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会エリア）

課題1 情報収集・情報伝達

①課題として指摘されている内容

- ・情報の収集について、スマートフォンや携帯電話を所有しない住民もいるのではないか。
- ・手軽に情報が入手できる、ラジオの活用を進めるべきである。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・避難所に電話機を設置する。
- ・連絡用の無線機を所有している。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・情報収集が容易にできる、ラジオの普及を進める。

課題2 地域・コミュニティ作り

①課題として指摘されている内容

- ・防災力を高めるために、町会への強制的な加入を進めることはできないが、加入してもらうための何らかの工夫は必要である。
- ・私立学校との情報交換が希薄ではないか。
- ・避難所となる学校側からの情報発信が必要ではないか。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・公立の学校と、常に情報の共有を図っている。
- ・募金活動に付随して、防災訓練等への参加を促している。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・災害時の連携が図られるよう、近隣の私立学校への働きかけを進める。
- ・小学校高学年や中学生の児童生徒を対象に、防災訓練参加を求める取り組みを進める。

課題3 安否確認・要配慮者支援

①課題として指摘されている内容

- ・個人情報保護の壁をどのように乗り越えるか、検討が必要である。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会で独自の名簿を作成している。
- ・支援が必要な世帯に対して、玄関先に掲出する赤い札を配付している。
- ・町会長自らが、要配慮者宅を巡回訪問し確認を行っている。
- ・地区の班長が定期的に巡回し状況を把握している。
- ・大きな地図に要配慮者をマッピングしている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・何らかの配慮や支援が必要な方への訪問を定期的に行い、要配慮者の情報収集の手法を検討する。
- ・正確な地域の災害情報や被災状況の把握方法を検討していく。
- ・町会が主体となって、高齢者の居住情報の把握を進める。

課題4 初期消火活動

①課題として指摘されている内容

- ・地区によって防災用具に格差（人員・場所・台数）があるのではないか。
- ・防災物品の保管場所の確保が難しい。
- ・防災用具（スタンドパイプ）を操作できる住民がどの程度いるのか。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・避難所訓練を定期的の実施し、防災用具の使用説明を行っている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・防災物品の拡充と保管場所について、行政とも充分調整を図りながら、確保を進める。
- ・防災用具の取り扱いに関する訓練の効果的な実施を検討する。

課題5 避難誘導

①課題として指摘されている内容

- ・防災用具（スタンドパイプ）の保有数について、地区によってばらつきがある。
- ・避難所となる小学校の改築工事については、その情報をきちんと地区住民に周知する必要があるのではないか。
- ・一時集合所の場所について、どの程度の住民が認知しているかわからない。
- ・一時集合所の確保が難しい。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・定期的に避難所訓練を実施し、避難所の円滑な設営や運営を心掛けている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・地区の安全を担保するため、学校の見回り要員の増員を進める。
- ・安全な一時集合所の場所を検討する。
- ・避難場所として、臨時に使用できる場所を検討する。

課題6 その他の課題

①課題として指摘されている内容

- ・以前よりも住民の防災に対する意識は高まっている。
- ・日頃からの防災対策を推進し、災害を最小限に抑える工夫が必要である。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・避難所訓練実施に関するチラシ等を配付し、情報提供を行っている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・防災意識の一層の向上を図るための具体的な働きかけの手法を検討する。

■ 4班（代田4丁目町会・根津山会・羽根木町会（東側）エリア）

課題1 情報収集・情報伝達

①課題として指摘されている内容

- ・スマートフォンは情報収集ツールとして有用だが、高齢者には使い方がわからない場合がある。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・災害時に備えて、町会役員の緊急連絡網を作成している。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・町会役員の班別の名簿作成を進める。
- ・町会加入者全員の情報を網羅した、緊急連絡網の作成を目指す。
- ・自治体が作成、発行した資料の周知とその活用を推進する。
- ・定期的なパトロールを実施し、地区の危険箇所の把握とその情報周知を図る。

課題2 地域・コミュニティ作り

①課題として指摘されている内容

- ・町会への加入促進も含めて、共同住宅の管理人等への災害時における協力要請を働きかけてはどうか。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・地区の中で「お互いの顔が見える」活動の一環として、小学校の登下校時間を活用し、あいさつ運動を積極的に行っている。
- ・親と子どもたちの円滑なコミュニケーションの形成を促すためのイベントを実施している。
- ・小学校と連携し、定期的に避難所運営訓練を実施している。
- ・「おやじの会」主催の防災訓練を定期的に行っている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・避難所運営訓練等の実施にあたり、おやじの会だけではなく、地区内の他団体との連携を図っていく。
- ・地区の住民を対象とした、防災倉庫内の用具の確認や、それらの用具の使用訓練の実施を検討する。
- ・マンション居住者への町会加入の促進に向けた取り組みと併せて、防災訓練等への参加の要請を進める。

課題3 安否確認・要配慮者支援

①課題として指摘されている内容

- ・個人情報収集するのは、かなり大変なことではないか。
- ・安否確認については、まずは家族がきちんと状況を把握しておく必要がある。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・災害時要援護者支援協定を締結している（根津山会）。
- ・町会役員が、要配慮者に対する救護活動の役割分担を明確にしている。
- ・救助活動に必要な物品や用具類を配備している。
- ・「敬老の日」に高齢者宅を訪問し、状況の把握に努めている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・普段から、災害対策について「家族で話し合える」情報の提供を進める。

課題4 初期消火活動

①課題として指摘されている内容

- ・消火活動の役割分担を明確化しておく必要がある。
- ・地区の住民が、防災用具の使用方法を理解しているか不安である。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・町会内で消火活動の役割分担を定めている。
- ・避難所運営訓練を定期的に行い、災害時に備えている。
- ・スタンドパイプの使用訓練を定期的に行っている。
- ・町会加入者を対象に、防災用ヘルメットを配付している。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・町会が主催する防災訓練の開催頻度を増やし、訓練への参加者拡大を図る。

課題5 避難誘導

①課題として指摘されている内容

- ・防災士や救命救急講習受講者の活用を図ることができないか。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・避難所運営訓練を定期的に行っている。
- ・地区内の避難ルートを確認を行い、安全確保に努めている。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- ・防災訓練の実施にあたり、多くの住民が参加できる訓練の方法を検討する。
- ・安全に避難できるルート図を作成し、町会の各班及び町会加入者全員への配付を目指す。
- ・地区の中で「顔が見える関係づくり」を進める方策を検討する。

課題6 その他の課題

①課題として指摘されている内容

- ・自助努力がもっと必要ではないか。
- ・災害時の状況について、自分たちも住民も、もっと想像力を働かせて考えて行動することが必要である。

②現在地区で取り組んでいる内容

- 町会単位で非常用の食糧を備蓄している。
- 防災士及び救命救急講習受講者が町会関係者に多数おり、避難所訓練等に積極的に参加している。

③今後取り組んでいく内容・方向性

- 住民の、災害に対する想像力を鍛えるための働きかけを検討する。
- 「想定外」や「思いもしない」等、被害を一層甚大にする要因を取り除く方策を模索する。
- 自助努力の醸成を図るための働きかけを検討する。
- 町会の備蓄物品に関する情報の周知方法を検討する。
- 多くの住民が救命救急講習を受講できるような工夫を検討する。